

様式第4号その①（第6条関係）

令和8年 4月 / 日

宗像市長 伊豆美沙子様
（宗像市議会議長経由）

議員名

安部芳英

政務活動費収支報告書

宗像市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙のとおり令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和7年度政務活動費収支報告書

議員名 安部 芳英

1 収入

政務活動費 264,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	領収書額	政務活動費報告額
研修開催費	0	0
調査研究費	0	0
資料作成及び資料購入費	0	0
広報及び広聴費	331,760	264,000
人件費	0	0
事務所費	0	0
合計	331,760	264,000

3 残額

0 円

4 添付書類

領収書等証拠書類

(様式1)
令和7年度 政務活動費明細書

No	内容	項目	費目												(単位:円)	
			旅費	講師謝金	出席負担金	印刷製本費	図書購入費	備品購入費	消耗品費	使用料	郵送料	手数料	賃金	その他	領収書額	政務活動費報告額
1	活動報告チラシ令和7年3月議会 3,000部	広報及び広聴費				74,360									74,360	54,000
2	活動報告チラシ令和7年6月議会 5,000部	広報及び広聴費				85,250									85,250	70,000
3	活動報告チラシ令和7年9月議会 5,000部	広報及び広聴費				85,250									85,250	70,000
4	活動報告チラシ令和7年12月議会 5,000部	広報及び広聴費				86,900									86,900	70,000
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
合 計						331,760									331,760	264,000

研修開催費		
調査研究費		
資料作成・資料購入費		
広報及び広聴費	331,760	264,000
人件費		
事務所費		
合 計	331,760	264,000

領 収 書

安部 芳英

様

No.1

発行日 令和7年4月30日

¥ 74,360 (税込)

但し 活動報告チラシ令和7年3月議会3,000部
上記正に領収いたしました。

〒811-4163
福岡県宗像市自由ヶ丘7-4-11

この領収書は電子データ
送付されたものである。

内 訳

税抜金額 ¥67,600

消費税額 ¥6,760

領 収 書

安部 芳英

様

No.1

発行日 令和7年7月31日

¥ 85,250 (税込)

但し 活動報告チラシ令和7年6月議会5,000部
上記正に領収いたしました。

〒811-4163
福岡県宗像市自由ヶ丘7-4-11

この領収書は
電子データで送付
されたものである

内 訳

税抜金額 ¥77,500

消費税額 ¥7,750

領 収 書

安部 芳英

様

No.1

発行日 令和7年10月31日

¥ 85,250 (税込)

但し 活動報告チラシ令和7年9月議会5,000部
上記正に領収いたしました。

〒811-4163
福岡県宗像市自由ヶ丘7-4-11

この領収書は電子データで
送付されたものである。

内 訳

税抜金額 ¥77,500

消費税額 ¥7,750

領 収 書

安部 芳英

様

No.1

発行日 令和8年1月31日

¥ 86,900 (税込)

但し 活動報告チラシ令和7年12月議会5,000部
上記正に領収いたしました。

〒811-4163
福岡県宗像市自由ヶ丘7-4-11

この領収書は
電子データで送付
されたものである

内 訳

税抜金額 ¥ 79,000

消費税額 ¥ 7,900

いつも全力！大切な宗像のために。議員活動報告書

アベママガ

宗像市の公共施設、未来への安心を築くために
令和7年3月議会 一般質問

私たちの大切な暮らしを支える公共施設。皆様の「自宅と同様に、宗像市も約180の公共施設（建物）を維持管理しています。」

しかし、時の流れとともに施設の老朽化は避けられず、安全な利用を続けるためには、計画的な修繕や更新が不可欠です。

そこで宗像市では、将来の人口減少を見据えながら、公共施設の老朽化対策、修繕、更新、統廃合などを計画的に行う「アセットマネジメント計画」を策定し、現在、着実に推進しています。

の安全を確保し、長期的な財政負担を軽減するとともに、将来にわたって最適な施設利用を目指すものです。具体的に取り組みとしては、施設の老朽化状況を詳細に調査する「コンクリート躯体の中性化調査」や、地元の専門事業者と連携した安全管理の強化などを実施しています。

定期的な情報公開が十分でなかった点、そして、建物ごとの経費は把握されているものの、市全体の長期的な費用見通しがまだ明確になっていない点です。これらの課題に対し、私は情報公開の強化と、より詳細な費用見通しの策定を求めました。宗像市からも努力する旨の答弁がありました。

公共交通・公共ライドシェア
市民の移動手段をより便利にするため、公共交通や新しい移動手段（ライドシェア）についての調査研究が進められます。



保育・介護・障害者施設の人材支援
保育士、介護士など、人手不足が深刻な分野で、人材を確保するための支援策が進められます。



宗像市の経済、現状を正しく把握し、未来へ繋げるために

地域経済の活性化は、私たち市民一人ひとりの暮らしに深く関わる重要な課題です。そのため、宗像市の経済状況を正確に把握し、現状分析に基づいて適切な施策を講じることが不可欠です。

そこで、宗像市の経済状況に関する調査分析の現状について質問させていただきました。この質問には、過去に私が提言し実現した、調査分析を行う部署の活動状況を確認するという意図も含まれています。

令和3年のデータによると、宗像市の市内事業者数は減少している一方で、売上は上昇しているという結果が出ています。しかしながら、市内総生産と収益は減少しており、複雑な経済状況がうかがえます。

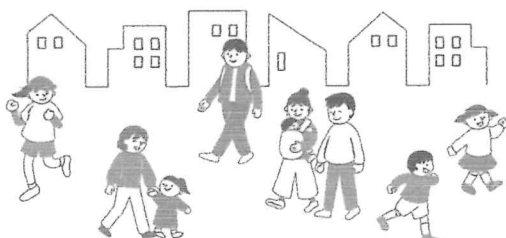
宗像市では、県や国のデータも活用しながら経済状

況の把握に努めていますが、情報の更新頻度に課題があり、データの鮮度の問題があることが分かりました。また、情報収集の多くが聞き取り調査であるため、客観的な根拠に基づいた分析という点においても、改善の余地があると感じています。

宗像市の経済がさらに発展し、市民の皆様が安心して暮らせる未来のために、引き続き市の取り組みを見守り、必要な提言を行ってまいります。



宗像市の経済がさらに発展し、市民の皆様が安心して暮らせる未来のために、引き続き市の取り組みを見守り、必要な提言を行ってまいります。



あの提案はどうなった？

会派としての要望活動の成果

私たちが所属する会派（グループ）として、市や県や国に対して様々な要望活動を行いました。

その結果、以下の分野で調査研究や取り組みが進むことになりました。

議員個人としての提案・要望の成果
議員個人としてこれまで提案や要望を行い、その中で進展があったものをご紹介します。

保育園のデジタル機器更新支援
保育園が古いデジタル機器を新しいものに更新する際の支援が充実します。

インクルーシブ教育の啓発
障害のある人もない人も共に学ぶインクルーシブ教育についての理解を深めるための活動が進められます。

現地決着型ふるさと寄付金
その地域に行った人が、現地でお金を使うふさと納税の仕組みについての検討が進められます。

住まいの終活啓発
空き家を増やさないために、市民向けに住まいの整理や管理についての情報提供が進められます。

公園の有効活用
公園をもっと有効に活用するための調査検討が始まります。

JR赤間駅の利便性向上
JR赤間駅の利用がより便利になるような取り組みが進められます。

消防車の運転免許取得補助
消防団員が消防車の運転免許を取得する際の支援策が進みます。

防犯パトロールによる市民啓発
防犯パトロールを通じて、市民に防災意識を高めるための活動が行われます。

高校生学習プログラム
高校生が地域を身近に感じられるような学習プログラムが進められます。



住まいの終活啓蒙

空き家を増やさないために、市民向けに住まいの整理や管理についての情報提供が進められます。

公園の有効活用

公園をもっと有効に活用するための調査検討が始まります。

JR赤間駅の利便性向上

JR赤間駅の利用がより便利になるような取り組みが進められます。

消防車の運転免許取得補助

消防団員が消防車の運転免許を取得する際の支援策が進みます。

防犯パトロールによる市民啓蒙

防犯パトロールを通じて、市民に防災意識を高めるための活動が行われます。

高校生学習プログラム

高校生が地域を身近に感じられるような学習プログラムが進められます。

日々の活動報告

緊急要望書を提出

1月27日

会派、宗像市政クラブで緊急要望書（主な内容…医療機関、介護施設、保育所などへのヒアリングの実施と独自支援策の検討）をとりまとめ、河野副市長へお渡ししました。

今後も諸課題について意見交換の機会をつくりながら、提言や要望に繋げて参ります。



赤間駅での朝活

2月10日

赤間駅南口にて当選後初めてのアベマガ配布。

市議になる前の2011年から定期的に駅立ちしています。今朝で14年目になりました。特に、昨年の秋は駅には立たずに、交差点などで辻立ちをしておりましたので、本日に久しぶり

市民ボランティア推進のためのシステム改修

市民ボランティアの活動を支援するためのシステムが改善されます。



まちづくり交付金の見直し

まちづくり交付金がより効果的に活用されるように見直されます。

技術職員の経験者募集

市の技術職員が経験を積むための取り組みが進められます。

農福連携推進事業による障がい者の働く場づくり

農業と福祉が連携し、障害のある人が働く場づくりが進みます。



田久浸水対策

長年訴えてきた田久地区の浸水対策について、取り組みが進められます。

逆流防止弁（フラップゲート）設置

大雨の際に下水が逆流するのを防ぐための弁が設置されます。

冠水情報掲示サイネージ設置

浸水に関する情報が表示される電子掲示板が設置されます。



調整池の検討

雨水を一時的に貯めておく調整池の設置についての検討が進められます。

移動式ポンプ車の導入

大雨の際に水を排出するための移動式ポンプ車が導入されます。

これらの取り組みは、市民の皆さんの生活をより良くするために、重要なものです。

今後も、これらの進捗状況をしっかりと確認し、より良いまちづくりに貢献していきます。

アベマガ1万枚プロジェクト無事に終了！

2月14日

当選して最初のアベマガという事で、無謀にも1万枚を配布するという目標を掲げ、1月6日からチャレンジ開始しました。

降雨や大雪などもあって1ヶ月以上費やしましたが、本日無事に配り終えることができました。

妻に運転を手伝ってもらったり、事業所や飲食店に



置いてもらったり、お知らせに配っていただいたり、駐車する場所がない地域では駐車場を貸していただいたり、支援者の方々の協力にはいつも感謝の気持ちでいっぱいです。本当に応援ありがとうございます！

今度もアベマガを多くの方に読んでいただき宗像市政に興味関心を持ってもらえるように頑張ります。



大島体験メニュー券で大島を満喫！

大島を全身で楽しませて

いただきました！島の方々から色んなお話を伺うことができました。皆様、是非「癒しの島大島」へお越しください！



赤間宿まつりで時代行列に参加しました

2月22日

今回も地元の方からの声掛けがきっかけで行列に参加しました。私でなければ協力します。

時代行列では井上県議、岡本議長、伊達議員、上野議員と一緒に行列に参加させていただきます！



まつりも大盛況で、地元商工会、商店組合、コミュニティの皆様の尽力に感謝します。



大阪マラソン2025

2月24日

大阪マラソン2025に宗像市発祥の防犯パトロール活動「パトラン」のPRチャリテイランナーとして出場しました。

宗像市発祥の防犯パトロール活動「パトラン」のPRチャリテイランナーとして出場しました。



あべ よしひで 安部 芳英



1970年宗像に生まれ、宗像で育つ。
学歴：赤間小学校 → 城山中学校 → 香椎工業高(情報科) → 福岡建設専門学校

- 宗像大社氏子青年会 監事
- 遠賀・宗像食品衛生協会 相談役
- 東海大福岡高校吹奏楽部後援会 相談役
- これまでの主な肩書き(元職)
- (公社)福岡県建築士会防災部会 副部会長
- 婚活まちづくり団体ゆめみらいNIPPON 代表
- 宗像地域会 副代表
- 青少年育成活動 宗像少年の翼 会長
- 田久わんぱくアンビシャス広場 代表
- 田久公民館 館長
- 宗像市立城山中学校 PTA会長
- 城中応援団(PTA支援) 顧問
- アドベンチャーMUNAKATA 顧問

議員活動報告書

アベマガ



日々の活動報告

新年度スタート、6月議会一般質問に向けて準備中！

4月1日

新年度が始まり、私も6月議会の一般質問に向けて動き出しました。市民の皆さんの声を市政に届けるため、過去の議事録を確認し、質問テーマを慎重に検討。これまでの質問の進捗も確認し、必要な点については「質問回答要求書」や「資料要求書」を提出しました。

4月25日
皆さんのご協力のおかげで、6月議会の一般質問通告書を無事に提出できました。これで一安心です！

「一般質問」って、どんなこと？

「一般質問」とは、市民の皆さんの声や困りごとを私が代弁して市長に直接届け、市政の取り組みをより良くし、市民生活を豊かにするための大切な機会です。宗像市の「現状」と「理想の姿」とのギャップを明らかにし、改善を求めたり、具体的な提案を行ったりします。

ゴールデンウィーク前！一般質問の準備が整いました！

とに、大変心強く感じました。

子どもたちの豊かな発想力と、協力して何かを作り上げる力を間近で見ることができ、貴重な経験となりました。



▲子ども達と動画を観ている様子

赤間西部地区コミュニティ定期総会に出席

5月11日

赤間西部地区コミュニティの定期総会に出席しました。中学生の企画ボランティアや子ども110番の家駆け込み訓練など、先駆的な取り組みの報告がありました。また、好評のイベントの見直しや、自治会長の負担軽減策、子育て世代の参加を促す施策など、地域をより良くするための様々な取り組みが進められているこ



赤間地区コミュニティ運営協議会総会に出席

5月18日

赤間地区コミュニティ運営協議会の総会に出席しました。伊豆市長、井上県議に続いてご挨拶させていただきました。緊張しました。

社会の変化に対応し、様々な課題を解決するための具体的な意見が活発に交わられていました。これからも皆さんと共に地域の発展に貢献していきます。



安部 芳英 議員

「通告書」作成の舞台裏

一般質問を行うには、事前に「通告書」という書類を提出する必要があります。A4用紙1ページ以内、質問時間は5分以内という規定の中で、市役所担当部署の答弁を想像しながら作成するのは、10年以上続けていても決して簡単な作業ではありません。

伊豆市長、河野副市長と意見交換

5月21日

伊豆市長と河野副市長にお時間をいただき、会派全員で様々な課題について話し合うことができました。市長と副市長のお考えを直接伺い、市民の皆さんの声を届ける貴重な機会となりました。



建築士会から表彰を受けました！

6月7日

公益社団法人福岡県建築士会の定期総会で、宗像地域会に30年間在籍していることに對し、会員表彰を受けました。

これまでの経験をまちづ

いつも「最終的にこの質問で何にどのような影響を与えたいのか？」という原点に立ち返って作成しています。

少しでも皆さんに議会へ興味を持っていただけたら嬉しいです。

駅でのご挨拶と「アベマガ」配布

5月2日

赤間駅北口で、私の活動報告「アベマガ」を1000枚配布しました。快く受け取ってくださった皆さん、ありがとうございます！

同級生や地域の方からの温かい応援の言葉に、改めて身が引き締まる思いです。

キッズフェスティバルでお手伝い！

5月5日

こどもの日に宗像ユリックスで開催されたキッズフェスティバルで、ボランティアスタッフとして参加しました。

テント設営や撤収、ぬりえの受付、宗像市のマスコ

くりを活かせるよう、さらに努力していきます。



防災対策の進展と排水ポンプ車訓練

6月12日

会派の要望が実り創設された「安全安心まちづくり基金」が、水害対策に早速活用されました。この基金で確保した排水ポンプ車の稼働訓練が、被害の大きかった田久交差点付近で無事実施されました。

訓練を見守った自治会の方々からは感謝の声が上がり、万が一の際の被害軽減へ向けた大きな一歩となりました。ご尽力いただいた関係者の皆様に感謝いたします。

ツトキキャラクター「テンちゃん」のアテンドなど、朝から夕方まで子どもたちの笑顔に囲まれて、たくさんの元気をもらいました！

これからも宗像の子どもたちが笑顔で過ごせるまちづくりに貢献していきます。



自宅隣のフリースクールで「お化け屋敷」体験！

5月9日

自宅の隣に新しくできたフリースクールの、子どもたちが作ったお化け屋敷に「脅かされ役」として招待されました。

子どもたちだけで考えたお化け屋敷は、ゴーストからの不気味な笑い、指導員の皆さんの熱演、そして謎解き要素まであり、想像を超えろクオリティで本当に驚きました！



市民交流まつり参加と感動の再会

6月15日

メイトム宗像で開催された市民交流まつりにボランティアスタッフとして参加しました。

スタンブラリーには500名以上が参加し、会場は大変な賑わいでした。ボランティアシステムで参加した学生との交流を通じて、このシステムの意義を再認識したのでより要改善につなげます。

さらに、20〜25年前の青少年事業「少年の翼」で関わった男性との奇跡的な再会がありました。「安部さんが市議になったことを知っていました」という言葉に深く感動し、自身のボランティア活動の原点を思い出

しました。
関係者の皆様に感謝し、
今後も「Let's ボランティア」を合言葉に啓発に努めます。



子ども支援ネットワーク総会に出席

6月22日

メイトム宗像で開催されました子ども支援ネットワークの総会に出席しました。総会に先立ち「こどものこえをきく会」がありました。宗像市には子ども基本条例があり大きな四つの権利を私たち大人が尊重することとされています。

『安心して生きる権利』
『自分らしく生きる権利』
『豊かに育つ権利』
『意見を表明する権利』

今日は、大学生から小学生までの子どもたちが意見を表明しました。

農業と文化の課題を「自分ごと」に！

宗像の農業は、この地域の歴史や文化そのものだし、私たちの生活の土台でもあります。でも、人口が減って高齢化も進んでいるので、後継者不足が深刻です。

農業用水路とか井堰（いせき）などの施設の管理は、農事組合の皆さんに頼っているんですが、組合員も減って経済的な負担も大きいから、維持していくのが難しくなっています。

また、宗像市内には約140もの神社があるんですが、そのうちの3分の1くらいが、ちゃんと管理が行き届いていない状態なんです。農業集落が衰退していくと、地域の文化が引き継がれなくなったり、コミュニティが維持できなくなったりと、本当に大きな影響が出てしまいます。

宗像ならではの歴史や文化を守るために、私は、農業インフラの維持管理費の負担を見直したり、管理が手薄になっている神社に行

あ、小さな子どももマイクに向かって「わー！」と意見を表明していました。
大学生の若者は子どもの頃にこのプレーパークでの遊びから沢山のことを学び、体験して今地域支援に関わっていることを披露してくれました。

湾岸3市1町私立幼稚園議員連盟を設立

6月27日

新宮・古賀・福津・宗像の3市1町の私立幼稚園を支援するため、「湾岸3市1町私立幼稚園議員連盟」が設立されました。私もこの活動に携わっていきます。



政が出来る関わりを考えることや、地域の資源として活用していくことを実体験として求めました。



宗像の産品で防災食を作り安心と地域振興を両立！

これまで議会で何度も提案してきた、宗像の地元産品を使った防災食の開発が動き始めています。これはすごく嬉しいニュースです。

防災意識は高まっていますし、政府も防災庁を作る動きがある今、宗像市独自の防災食をさらに開発していくことは、ただ長く保存できるだけでなく、ふるさと納税の返礼品としても使える可能性を秘めているんです。これは新しい地域振興策になるんじゃないかと！

なので、宗像市独自の防

温かいご寄附が、宗像とウクライナの命を繋ぎました！

2023年7月、「アベマ」を読んだ市民の方から、亡くなられた奥様のご意向で救急車の寄附と、現在使用している救急車のウクライナへの寄贈のご相談を受けました。議会の議決を経て、ご寄附による高規格救急車が宗像市に導入されました。

さらに、NPO法人サンパンサ様のご尽力により、先代の救急車がウクライナのザボリージャ州で現在も活動しているとの報告を受け、大変嬉しく思います。

宗像市内で寄附によって導入された救急車を見かけるたび、そしてウクライナでこの救急車が命を救う一助となっていることを願っています。

もし寄附をお考えの方がいらっしゃいましたら、ぜひ私にご連絡ください。

災害をさらに開発するために、地元企業ともしっかり連携を強化して、市としても積極的に取り組んでいくことを求めました。

これは、いざという時の備えを強くするだけでなく、市民の皆さんの防災意識を高めることにもつながるし、宗像の地域活性化にも貢献する策だと信じています。



今回の一般質問を通して、市民の皆さんの暮らしに直結する課題と、宗像が持っているたくさんの可能性について議論することができました。

これからも皆さんの声に耳を傾け、より良いまちづくりに貢献できるよう努めてまいります。引き続きご意見やご要望をお寄せください！

Instagramで日々の活動や宗像市の魅力を発信しています！フォローをお願いします！



Instagram
@ABEYOSHIHIDE

あべ よしひで
安部 芳英



1970年宗像に生まれ、宗像で育つ。
学歴：赤間小学校 → 城山中学校 → 香椎工業高(情報科) → 福岡建設専門学校

■ 宗像大社氏子青年会 監事 ■ 遠賀・宗像食品衛生協会 相談役 ■ 東海大福岡高校吹奏楽部後援会 相談役

これまでの主な肩書き(元職)

■ (公社)福岡県建築士会防災部会 副部会長 ■ 婚活まちづくり団体ゆめみらいNIPPON 代表
■ 宗像地域会 副代表 ■ 青少年育成活動 宗像少年の翼 会長 ■ 田久わんぱくアンビシャス広場 代表
■ 田久公民館 館長 ■ 宗像市立城山中学校 PTA会長 ■ 城中応援団(PTA支援) 顧問
■ アドベンチャーMUNAKATA 顧問

市民と共に創る未来、宗像の農業と文化、そして防災

令和7年6月議会 一般質問の感触

市民の声をめと市政に！ 市民参画と協働の推進

宗像市に市民参画・協働の条例ができてから、もう20年も経ちました。でも、正直なところ、理念と現実にはまだギャップがあると感じています。

また、国も計画策定の義務を少なくしていく動きがある中で、宗像市もこれらの計画のあり方を考え直す時期に来ているんじゃないかと。

今は議員が直接、計画作りに参加できない仕組みになっているので、議会ももっと計画策定に関われる機会を増やすべきだと提案しました。

それに、市民の皆さんが

ら意見を募る「パブリックコメント」も、もって皆さんの声が活かされるように改善したり、市民が参加できるワークショップをもっとたくさん開いてほしいと要望しました。

今の時代に合わせて、市民協働の「定義」自体も見直す必要があるんじゃないかと提起しました。

最終的には、市民参画推進条例の改正も含めて、しっかり議論していく必要があると思っています。

とにかく、市民の皆さんの声が、いろんな形で市政に届くようにしていきたいです。

いつも全力！大切な宗像のために。議員活動報告書

アベママガ



日々の活動報告

大雨の中で感じた地域の絆と安全への責任

8月10日

今朝は事務作業の傍ら天候を確認しながら市内巡回してまいりました。

午前中は営業する店舗もありましたが、午後から雨量が増すと各所で冠水などの情報が入ってきました。私のところにも友人や市民のみなからLINEやメッセージや、電話で相談や問い合わせがいくつもありました。

今日は叔父の法事でした。叔父も例の交差点付近に住んでいましたので、長年大雨に悩まされてきた一人です。心で合掌。

雷が激しくて運転を躊躇することもありましたが、小降りになるのを見計らって現場の確認を行い、近隣住民の方にも注意喚起の声掛けも行いました。

本来は行政関係者が対応するのが一番良いのですが、私が、私に連絡して来られた方々のお気持ちを考えて安全に配慮した上でお顔を拝見しながら、状況を確認して宗像市に状況の報告を行うことは個人としては当然のことと思います。

また、地元地区での被害に関しては区長さん達とも連携して行動しています。避難所までの距離や手段が

ない方がおられるケースも想定されるため、住民自治や公民館の重要性を改めて感じています。デジタルも大切ですが、日頃からのアナログな顔の見える関係はさらに大切だと思います。不安な夜を迎える皆さまに何事もないように心から願っています。

大雨災害の状況と対応

8月11日

9:00、雨の勢いがおさまるのを待って田久交差点付近の状況を確認し市役所に報告。

昨日から今朝も早朝より道路通行止めの交通誘導に消防団の皆さんがあたりていました。ご自分の家庭や仕事がある中でのご対応

災害ボランティア活動

8月16日

災害ボランティア活動に参加してまいりました。

- 9:00、メイトム宗像ボランティア受付
- オリエンテーション
- チーム分け（二度目のリーダー）
- 作業内容の説明
- 資機材の積み込み
- 現場へ移動
- 9:20、東郷地区復旧現場
- 現場
- 畳上げ・畳床上げ
- 床下の泥かき出し
- 土裏詰め作業
- 作業終了→移動
- 10:50、池野地区復旧現場
- 土砂で汚れた外壁・犬走りの洗浄
- 床下の水の吸引作業
- 資機材清掃→移動
- 12:30、メイトム宗像
- 資機材返却
- 活動終了オリエンテーション
- 作業報告書の作成
- 解散

ご報告とお願い

私は市議になって以来、「災害復旧におけるボランティア体制づくり」を一貫して訴えてきました。

残念ながら災害が発生してから始動となりましたが、今回「災害ボランティアを募る」第一歩を踏み出すこととなりました。

現場では、被災された市民の方々が一日も早く日常を取り戻せるよう、ボランティアや行政関係者が力を合わせ懸命に活動しています。

是非多くの方に災害ボランティアに興味関心を持ってもらいたいです。

8月18日、8月22日もボランティア活動に参加しました。



媒酌人を務めました

8月23日

水害の時に身を粉にして頑張ってくれている消防団員の友人の御子息がご結婚されました。

若い二人、そしてご両親から媒酌人を依頼され夫婦で話合って引き受けさせていただきました。披露宴にご臨席賜りました皆様ありがとうございました。新郎新婦の未来が明るいものとなりますように。御両家の皆様、誠にありがとうございました。貴重な機会をありがとうございます。



本当に頭が下がります。

床に溜まった水の掃き出し手伝いや土砂崩れの現場の確認、市役所への報告も行いました。被災された皆さんは「これからどうすれば良いのかわからない」「市役所のどこに相談すれば良いのかわからない」「毎年毎年…」そう言った声が多くありました。

また、災害ゴミのことや崩れた崖の養生方法など、とにかく市の考えや方針について「具体的な情報」を必要とされています!!

市役所に相談しHPなどでの公表を急いでもらいました。

13:00、電話やLINEでの問い合わせに追われま

14:00、昨日連絡いただいた被災者から消防職員が現地確認にいられたとの連絡あり。その後、消防団の方が土砂崩れ箇所にブルーシートで仮養生をしてくださったとの連絡がありました。

福岡県、宗像市、消防、

農地の被害状況確認

8月25日

市民相談で農地の被害状況を確認。心よりお見舞い申し上げます。

市と県の関係者も、酷暑の中確認作業されておられました。ご苦労様です!

土砂崩れの復旧作業は費用も多額となります。個人的に仮復旧のアドバイスもさせていただきます。

井上正文県議と連絡を密にとらせていただき、市内の対策についてご指導を賜りました。

まだまだ市内の現地確認は継続中で、今後、政調会長として要望書に取りまとめ関係各所へ提出する予定です。

会派活動

9月17日

河野副市長に会派より、水害対策や超高齢化社会に向けた対策（介護福祉施設支援、公共交通支援）を要望しました。

尚、バス待ち環境の改善策については進められることとなりました。

警察、そして消防団の皆さん本当にありがとうございます。



叔父の初盆参り

8月12日

今日叔父の初盆参りに行くことができました。叔父夫婦も田久交差点付近に住んでいて長年水害に悩まされてきました。

マンション高層階に一人暮らしの叔母、水害の影響で昨年に引き続きエレベーターが故障しました。水害は他人事ではありません。



赤間駅周辺活性化協議会

9月18日

赤間駅周辺の経済活性化、まちづくりを進める団体である赤間駅周辺活性化協議会の臨時総会が開催されました。私も所属して10年ほど経ちます。



緊急要望書提出

9月25日

9月議会開会後、「田久交差点付近及び赤間駅周辺の水害対策を求める緊急要望書」が提出されました。

田久自治会、田久交差点付近水害対策期成会、土六自治会、赤間駅周辺活性化協議会の役員の方々と、並びに会派宗像志政クラブの小林議員・森田議員・井浦議員・伊達議員・木藤議員・石松議員と共に、伊豆美沙子市長と岡本陽子議長へ直接お渡ししました。

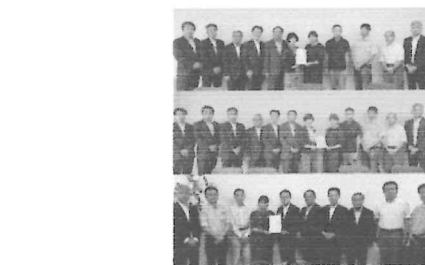
去る8月の豪雨水害では、田久地区を中心に多くの住民が被災されました。平成14年当時より被害者の会として活動を続けてこられた水害対策期成会の方々と、田久自治会に相談が寄せられ、私も行政・政治との橋渡し役として関わらせていただきました。

今回の要望は、「平成14年に採択された田久交差点付近の水害対策に関する請願」を踏まえ、これまで宗像市が取り組んできた水害対策

を評価しつつ、近年の線状降水帯や豪雨の頻発によりリスクが高まっている現状を踏まえ、今後20年間を見据えた対策計画を可能な限り前倒しで実行していただきたい、というものです。

田久や赤間駅周辺に限らず、市全体の水害対策を早期に進めていただきたいという思いが込められています。

協議を進める中で、今回の課題は田久交差点周辺にとどまらず、JR赤間駅北口・南口にも影響を及ぼす重要な問題であることから、土六自治会長様や赤間駅周辺活性化協議会理事会のご理解とご賛同をいただき、署名をもって緊急要望書に加わっております。



宗像市だけで対応できる課題ではありませんので、国や県への働きかけもあわせて要望されました。既に21日には衆議院議員・宮内秀樹先生へ、23日には福岡県議会議員・井上正文先生へ要望書が提出されており

市が課題あり。今後さらに方法を検討する。

意見

市の答え…工夫はしているが課題あり。今後さらに方法を検討する。

見聞の背景

保育サービス利用は増加中。一方で「仕事と子育ての両立に不満」が多い。保育士不足が深刻で、保育士の早期退職も課題。

希望

1. 保育士の採用・離職対策は？
市の答え…研修助成や家賃補助などを実施し、4年間で100人以上に支援。
課題は「業務負担」「ICT化」(情報発信)。
指摘 神奈川県平塚市のように独自基準を設け、保育士に優しい環境を整えるべき。

2. 実習生・若者へのアプローチとして、実習の交通費を補助したり、インターンシップで園を体験する仕組みづくりを推進しては？

3. 保育士フェア・情報発信強化策として、小中高生も対象に広げるべき。
市の答え…現状は大学生中心。今後「子ども大学」などで若い世代へも広げる。

1. コミュニティの課題・コミュニティの範囲
指摘…人口の偏りで将来の防災に支障。行政が先に考えるべき。
市の答え…要望がなければ見直さないが、必要があれば地域と協議する。

2. 自治会の担い手不足
指摘…意識変化だけでは不十分。行政が具体的に動くべき。



Instagram
@ABEYOSHIHIDE



Instagram
@ABEYOSHIHIDE

あべ よしひで
安部 芳英



1970年宗像に生まれ、宗像で育つ。
学歴：赤間小学校 → 城山中学校 → 香椎工業高(情報科) → 福岡建設専門学校

■遠賀・宗像食品衛生協会 相談役 ■東海大福岡高校吹奏楽部後援会 相談役 ■湾岸私立幼稚園議員連盟理事

これまでの主な肩書き(元職)

■(公社)福岡県建築士会防災部会 副部会長 ■婚活まちづくり団体ゆめみらいNIPPON 代表
■宗像地域会 副代表 ■青少年育成活動 宗像少年の翼 会長 ■田久わんぱくアンビシャス広場 代表
■田久公民館 館長 ■宗像市立城山中学校 PTA会長 ■城中応援団(PTA支援) 顧問
■アドベンチャーMUNAKATA 顧問 ■宗像大社氏子青年会 監事

9月1日「防災の日」一般質問

(1) 公共施設とまちづくりの課題

1. 公共施設の計画のチェック方法について、計画を立てても、どこまで進んでいるか分からない。達成状況を確認できる仕組みが必要では？

市の答え…毎年の評価方法がまだ決まっていない。他市を参考に今後検討する。

意見 計画は「誰が、いつまでに、何をやるか」が基本。市民にわかる「物差し」を必ず作るべき。

2. 学校の規模・配置検討は？ 令和7年度中に学校の配置方針をまとめると答えていたが？

市の答え…児童数の予測や地域の声を踏まえて作成中。ただし課題は多い。

意見 社会は常に変化している。先送りせず、早く取りまとめるべき。

3. 公共施設の維持管理(包括管理委託)では、「壊れる前に直す」予防保全を導入すると言っていたが、効果を測れないのでは？

市の答え…効果を示す指標がなく、今後つくる予定。

意見 最初から「予防保全」を掲げたのに測れないのは問題。早急に改善を！

4. 災害時の対応について、豪雨や落雷で委託の仕組みは役立つのか？

市の答え…業者常駐で迅速に対応できた。ただ、市と業者の役割分担は不十分。

意見 対応の速さは評価。ただし役割分担を明確にし、職員も現場判断できる力を持つべき。

5. 公共施設とまちづくりの将来について、施設を『どう使うか』だけでなく、『優先順位』も含めて考えるべきでは？

市の答え…人口減少や財源を考慮し議論が必要。ただし庁内に仕組みもロードマップもない。

議員活動報告書

アベマツガ



あの提案はどうなった？

ユリックス芝生広場に民間施設開業

空間の新しい使い方が宗像市でも形になり始めています。



宗像ユリックス芝生広場にスターバックスが開業しました。休日には子ども連れの家族や若い世代が自然と集まり、広場の使われ方そのものが変わって来ます。

実は、私は議員になる前に公共施設の維持管理のための修繕をする仕事をしていて、宗像ユリックスにも数多く関わってきた経験と思い出があります。

先日、その一つである芝生広場を妻と一緒に現地を歩き、かつて議会で提案した場所を確認してきました。最初にこの場所の活用を提案したのは2014年3月です。そこから11年が経ち、ようやく公共

今回は、この変化はどこから始まったのか、事実に基づいてご紹介いたします。

■2014年3月

ユリックス芝生広場への民間施設誘致を初めて提案
2014年3月、私は宗像ユリックス芝生広場に民間施設を誘致すべきだと提案しました。当時のユリックスが利用者減少の課題があったこと、道路横の好立地なのに有効に活用されておらず、硬直物件化し

ていたこと、市内市外から多くの利用者が訪れる工夫ができるはずだと考えたからです。
当時の市の答弁は、「市民から要望はない」「用途が制限されており難しい」という非常に慎重なものでした。思わず頭を抱えてしまうような答弁でした。

当時は「公園は市が管理するもの」という意識が強く、民間と協力して賑わいをつくるという発想は行政側にはほとんどありませんでした。それでも私は、ユリックスの広大な芝生広場を市民が自然に集まる場所にできると考え、粘り強く提案を続けました。

■同時期の提案もすべて「公有財産の活用」が軸

私は2013年前後から、公有財産をどう活かすかとい

う視点で次のような提案も行っていきます。
・市民体育館屋外運動場の夜間利用
・市役所敷地内へのコンビニ設置
・市内にある188の公園の利用者増加策
・大島旧資料館やメイトム宗像の利活用
・小水力発電の調査
これらはすべて、既にある資産を最大限に活用し、市民の利便性や楽しさを高めるためのものでした。

■2015〜2018年

市の姿勢が「否定」から「検討」へ変化

最初は否定的だった行政の姿勢も、少しずつ変化が生まれていきます。
・アセットマネジメント推進計画の策定
・「全庁的な検討が必要」という答弁の増加
・公有財産活用検討委員会の設置
すぐに結果にはつながらなかったものの、できない理由を述べる答弁から、検討する価値を認める姿勢へと一歩前進しました。

■2019〜2022年
制度化に向けた具体的な動きが進む
・職員提案制度の開始
・宗像ユリックスのサウンディング、公募
このころから、宗像市では「公園を維持するだけでなく、どう活かすか」という視点が具体的に議論されるようになりました。

■2023〜2025年

公園利活用の検討と実践が本格化

近年、宗像市では次のような取り組みが始まりました。
・都市公園の利活用方針の検討
・民間事業者へのサウンディング（意向調査）
・公園を活用した社会実験イベント（パークマルシェ等）
・公民連携セミナー・ワークショップの実施
・公園管理運営のあり方検討業務の委託
これらは、公園の運営を行政だけで抱え込むのではなく、民間や地域と連携して価値を高める方向性そのものです。

災害に強いまちとは

令和7年12月議会 一般質問

令和7年8月豪雨は、宗像市内で観測史上最大の雨量を記録し、河川の越水、道路冠水、住宅被害が広範囲で発生しました。



私は「来年も同規模の豪雨が発生する前提」で、防災・減災と復旧・復興の両面から、現場の課題を整理し改善を求める形で質問を行いました。

まず、9月25日付で田久自治会、田久水害対策期成会、土穴自治会、赤間駅周辺活性化協議会から提出された緊急要望書への市長の見解と対応を質しました。

市長は、これまでの対策は冠水を早く解消する取り組みが中心であったが、「冠水を発生させないための抜本的な対策が必要」と答弁し、雨水まちづくりビジョンの前倒しを進める意向を示しました。

また、治水事業を担う福岡

県には事業促進を強く求め、国に対しても必要な予算措置を働きかけるとしました。

次に、災害ボランティアセンターの運用について質問しました。市と社会福祉協議会の協働で派遣を行ったものの、情報共有や役割分担に課題があったことが答弁されました。

私は事前登録制度や運用改善を提案しました。

被災状況の把握とニーズ調査については、災害対策本部が入電対応に追われ、十分に実施できなかったことが明らかになりました。本部閉鎖後は所管課が対応し、対応不能な案件を危機管理課が総括する体制であったとの答弁でした。

私は、被害把握の迅速化のため、市民通報システムの緊急版や復旧状況の一元管理機能、さらには復旧段階での「復旧対策本部」相当の組織の必要性を提案しました。

最後に、国への働きかけについて確認しました。

市は、今回の豪雨を受けて

中長期の抜本的治水対策に必要な国の予算措置、および地域の実情を踏まえた緊急要望の双方について、「年明けに財務省へ要望に行く予定であり、現在準備を進めている」と答弁しました。

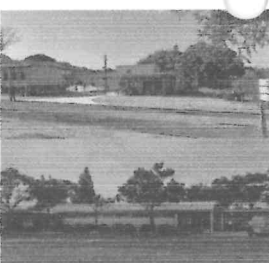


現場の課題は多岐にわたります。私は今後、次の豪雨を前提に、一つ一つ改善を積み上げ、実効性のある防災・減災体制の構築を求めてまいります。



■2025年 ユリックス芝生広場で民間施設が開業

そして今年、ユリックス芝生広場で民間施設（スターバックス等）が開業しました。最初の提案から11年越しの実現です。



現地で、市民の方々が自然と集まり、くつろぎ、楽しんでいる姿を見て、「提案を続けてきてよかった」と感じました。市民の皆様、宗像市の職員の努力、国や県の制度の進展、サウンディング協力者、民間企業の積極的な関わりなど、さまざまな積み重ねがあった形になったものです。

■市民がもっと使える公園へ

宗像市には188箇所の公園がありますが、十分に活用されていない場所も少なくあ

Instagramで日々の活動や宗像市の魅力を発信します！
フォローお願いします！



Instagram
@ABEYOSHIHIDE

JR赤間駅周辺の活性化について

赤間駅周辺の活性化について、市長に認識と今後の計画を質問しました。

赤間駅周辺の位置づけと活性化の現状

市の中心拠点…赤間駅周辺は宗像市のまちづくり計画（都市計画マスタープラン）で、市の中心的な場所として明確に位置づけられています。求められる役割…商業、医療、福祉など、生活に必要な高いレベルの機能を集め、宗像市の顔となる魅力的な都市空間を作る役割を担っています。

これまでの動き…地域住民で構成される「赤間駅周辺活性化協議会」が活動を続けており、今年9月には市とJR九州との間で協定が結ばれました。

市長の答弁（今後の具体的な取り組み）

市長は、赤間駅周辺が中心拠点であるとの認識を再確認し、以下の計画で活性化を進めると答えました。

1. JR九州との連携強化
①駅利用者の利便性向上のため、下りエスカレーターの整備を進めます。
②特急列車の利用を促すための補助や、デジタルチケットの開発などを通じて、駅の利用者を増やし、賑わいを作り出します。

2. 地域との連携
①都市計画道路事業（宗像福岡線）で残っている土地の買収などについて、地元の協議会とより一層連携し、要望活動を継続します。

地域活動への支援に関する質問

駅周辺の賑わい作りや文化継承、防災・環境啓発など、地域住民が行う多角的な活動を市が支援するための仕組み（協働化の推進や組織強化のための支援メニュー）を整備する必要性を訴えました。

市の答え…多角的な目的を持つ地域活動に対しては、行政の部署をまたいで支援のあり方を検討する。



その活動が社会全体の利益になるか、効果があるかを考慮しながら、必要な支援を行う。行政だけでなく、民間企業との連携も図りながら問題解決に取り組む。との姿勢を示しました。

最後に、私からは市民と市、JR九州との連携を強化し、赤間駅周辺が宗像市の「顔」として発展していくよう活動を続けると述べました。

日々の活動報告

2025年11月15日

9:00 昨日終わった事務組合議会行政視察の報告書を作成

10:00 一般質問の深掘り調査整理

12:00 自宅隣のみんな食堂でカレーをいただきました。

お米は先日市民の方から私に「ご連絡いただいたお米です！ そのお米を炊いて美味しいカレーが出来上がりました。食堂へのご寄付ある方は私が軽トラックで預かりに参りますのでご連絡をお願いします。」

子ども食堂に限らず、子ども達が笑顔になるような取り組みを推進してまいります！ 立体オセロ的なゲームで瞬殺されました（笑）



2025年12月6日

今日はパトランサミットに参加しました。北は山形県、南は佐賀県まで、多くの方々が宗像市にお越しくださいました。地域や組織の枠を越えて安全安心への取り組みを共有できる、意義のある時間でした。

今回初参加の南米出身のエド君にはエクスカッション的に宗像大社をご案内。「二礼二拍手一礼」のお参りも初めてのことと、日本の文化にとっても興味を持っているエド君、宗像の文化に触れてもらえる良い機会になりました。



要望活動

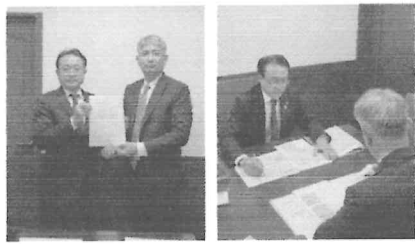
福岡県への要望活動

2025年11月20日

19:00 政務調査会を開催し、宗像市から福岡県への要望書について、井上正文県議にご確認いただき、併せてお受け取りいただきました。

要望内容は、県道や河川の整備をはじめ、農林水産業、商工業、観光など多岐にわたる事項に及んでおります。

県予算案に少しでも反映されまよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



↑井上正文県議と

宗像市を含め県内各地区で行われている要望活動について

宗像市からも、市内の商工業農業等の関係団体と皆様と意見交換を行い、取りまとめた要望書を井上正文県議を通じて自民党福岡県支部連合会へ提出させていただいておりました。

この度、福岡県議会の自民党県議団の代表質問の中に取り上げていただきましたので、抜粋してご紹介いたします。

1. プレミアム商品券について

現状の課題…今、お店の経営は、ガソリンや原材料の値段が上がっているため大変です。また、働く人のお給料は少し上がっていますが、それ以上に物の値段が上がっているため、みんなが使えないお金（実質賃金）は減り続けています。

その結果、みんながお買い物を控えてしまい、地域のお店が困っています。

→宗像市でも商工関係者の声をもとに福岡県に要望を行っています。

県の対応方針…
①この状況を助けるため、市は来年度も「プレミアム付き

地域商品券（お得な金額で買えるお買い物券）を発行する活動を支援します。

②支援の理由…お買い物券を使うことで、みんなが積極的に買い物をするようになり、地域経済全体を元気にするためです。

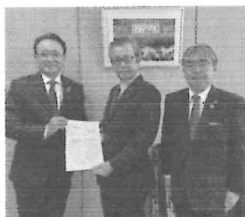
③支援の内容…国からもらえなお金（交付金）を活用し、特に手厚い支援（特例措置）を続けて、お買い物券の発行を助けます。

2. 福岡の農業について

現状の課題…福岡県は、お米だけでなく、パンの材料になる「小麦」や、お味噌・お醤油の材料になる「大豆」、家畜の餌になる「飼料用米」をたくさん作っています。

しかし、最近お米の値段が上がったため、農家さんがお米の生産を増やした結果、大豆や飼料用米の作付面積が減ってしまいました。また、気温の上昇などで、お米などの農産物の収穫量にも影響が出ているという問題が起きています。

→宗像市でも農業関係者の声をもとに福岡県に要望を行っています。



↑井上県議(左)から松本会長(中央)・江口政調会長(右)へ

県の対応方針と具体的な取り組み…

- ①県は、食料の安定供給と農家さんの安定した経営のため、お米だけでなく、大豆や麦なども含めた水田農業全体を応援します。
- ②生産量の確保…お米を安定して供給しつつ、減ってしまった大豆や飼料用米も、必要量を作れるよう計画を見直しします。
- ③水田のフル活用…一つの田んぼで、お米と大豆、麦を順番に作る「水田のフル活用」を進めます。
- ④効率化と技術革新…大きな農業機械（スマート農業）の導入を助けたり、農地をまとめたたりして、コストを下げて、より多く作れるようにします。
- ⑤暑さに強い新しいお米の品種を開発したり、大豆の品質を高めるための技術を教えます。

あべ よしひで
安部 芳英



1970年宗像に生まれ、宗像で育つ。
学歴：赤間小学校 → 城山中学校 → 香椎工業高(情報科)
→ 福岡建設専門学校

■遠賀・宗像食品衛生協会 相談役 ■東海大福岡高校吹奏楽部後援会 相談役 ■湾岸私立幼稚園議員連盟理事